地下鉄平岸駅周辺地区の
まちづくり指針策定に向けたアンケート
― 調査票 ―

アンケート回答にご協力をお願いいたします。

日頃より地域のまちづくりにご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、平成 29 年度より、地下鉄平岸駅周辺地区で地域の方々とまちづくりの方向性を共有するための指針づくりに向けて、地区にお住まいの方、事業者の方などとともに「平岸未来づくりワークショップ」を開催してきました。

これまでの意見交換会でいただいたみなさんのまちづくりへの意見を踏まえ、今後も地域の魅力を維持、向上させていくため、建築物に関するルールや今後取り組んでいきたいまちづくり活動を、地下鉄平岸駅周辺地区のまちづくり指針（以下、まちづくり指針）として定めることで検討を進めています。

このまちづくり指針では、地域の皆さんに協力していただきたい建築物の建て方などに関するルールや、地域の魅力を高めるまちづくり活動を定めることを検討しています。

そこで今回、**まちづくり指針の検討において、平岸駅周辺地区にお住まいの方、事業者の方などのご意見や考え方を伺い、参考とさせていただくため**アンケート調査を行うことといたしました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、何卒、アンケート回答へのご協力をお願いいたします。

また、アンケートは無記名での回答で、**結果につきましてはまちづくり指針の検討以外には使用いたしません**ので、皆様の率直なご意見をお寄せください。

アンケートの回答方法について、必ず裏面をご確認ください。

締切：平成 30 年 10 月 29 日（月）

お問い合わせ、返信先：札幌市　まちづくり政策局　都市計画部　地域計画課　地域計画係

TEL : **011-211-2545** FAX : **011-218-5113** 担当：太田、岡田

【回答方法および返送方法】

■**①調査票（本書）、または ②ｗｅｂアンケート**（お持ちのパソコンまたはスマートフォンをお使いいただき、インターネット上でご回答）のいずれかの方法でご回答ください。

■**①または②のいずれかの方法**により、**お一人様１回のみご回答**ください。

＜①調査票（本書）でご回答いただく場合＞

◇選択式の設問は、該当する番号や選択肢に指定の数の○印をつけていただくか、番号を枠の中にお書きください。

◇記述式の設問は、お考えを簡単にまとめ、回答欄に記入してください。

◇調査票に回答をご記入後、調査票を三つ折りにしていただき、同封の「返信用封筒」に入れてご返送ください（**切手は不要です**）。

＜②ｗｅｂアンケートでご回答いただく場合＞

◇お持ちのパソコンまたはスマートフォンをお使いいただき、ご回答ください。

◇アンケート画面を開くには、右の２次元コードを読み取るか、ＵＲＬ（**https://questant.jp/q/hiragishi**）を入力してください。

◇選択式の設問は、該当する番号や選択肢に指定の数のチェックをつけてください。

◇記述式の設問は、お考えを簡単にまとめ、回答欄に入力してください。

◇最後の設問（問８）を回答されましたら、［回答を送信して終了する］のボタンを押して終了です。

（ご回答にあたって）

◇スマートフォン以外の携帯電話では回答できません。また、パソコンやスマートフォンの場合でも、お使いのソフトのバージョン等によっては、ご回答いただけない場合があります。
その場合は、大変お手数ですが調査票でご回答ください。

◇ご回答いただいている途中でインターネット接続が切断された場合などは、お手数ですが始めからやり直してください。

締め切り（調査票、ｗｅｂアンケート共通）

平成30年10月29日（月）（調査票にご記入いただく場合、当日の消印有効）

<u>問１　地下鉄平岸駅周辺地区のまちづくりの取組について</u>

地下鉄平岸駅周辺地区では地域の価値や魅力を維持・向上させていくためのまちづくりのルールや取組を検討しています。当地区について、現在感じていること・今後の取組について、あなたの考えにあてはまるもの**１つに○**を付けてください。

ア　現在十分魅力があるが、より魅力的なまちづくりの取組が行われると良い

イ　現在十分魅力があるので、特に何もしなくて良い

ウ　ある程度魅力があるが、より魅力的なまちづくりの取組が行われると良い

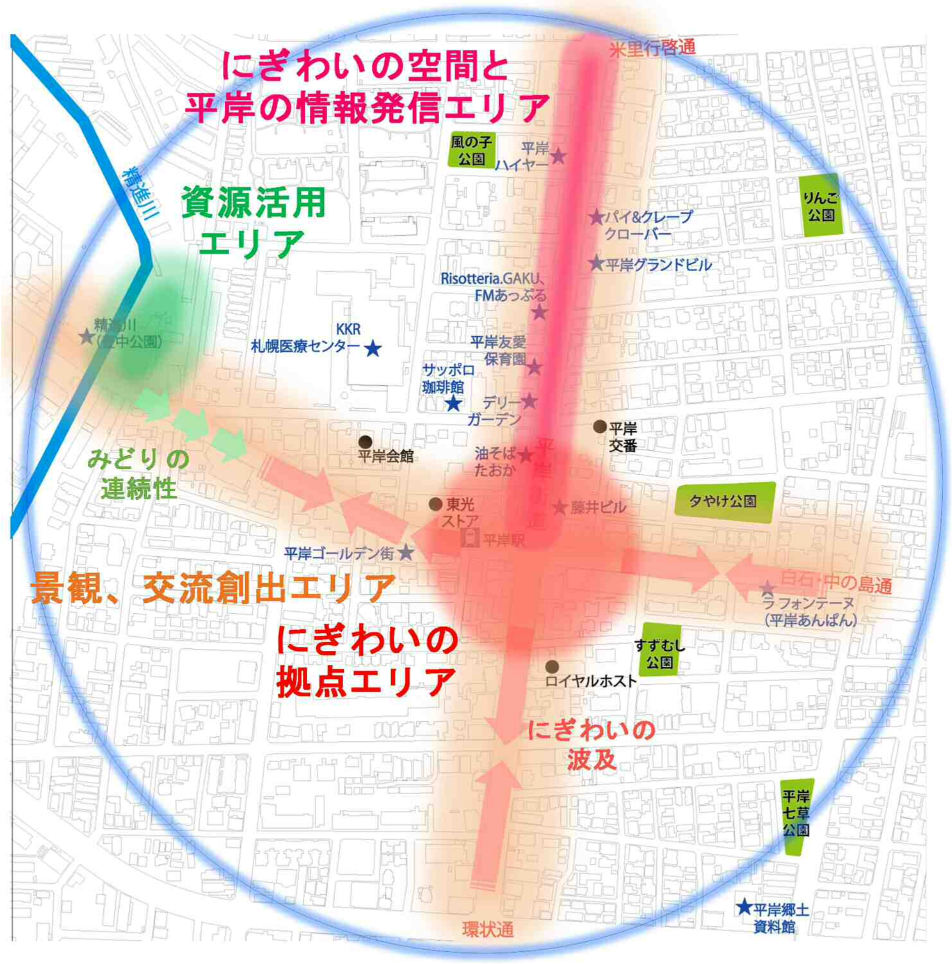
エ　ある程度魅力があるので、特に何もしなくて良い

オ　魅力が不足しているので、まちづくりの取組で改善されると良い

カ　わからない

※地区の問題点や課題と感じていること、改善策について考えをお聞かせください。

地下鉄平岸駅周辺地区は、概ね下図の青色の円の範囲のエリアとしています。ワークショップでは、**<u>特に赤とオレンジに着色した平岸街道と白石・中の島通沿道の範囲で地下鉄平岸駅周辺地区のまちづくり指針の取組を進めていくこと</u>**を検討しており、エリアごとの特性についても検討しています。



問２　平岸のまちづくりに関する課題について

これまでのワークショップでは、平岸駅周辺地区における現状の課題について、平岸街道や白石・中の島通など地域のメインストリートにおける建物の老朽化や空き店舗の増加などによるにぎわいの不足や景観上の問題、コミュニティ形成の課題など、さまざまな意見が挙げられました。

あなたが平岸に住んでいて課題と感じることについて、あてはまるもの**全てに○**を付けてください。

ア	ゆとりのある歩行空間が少ない	イ	人が集まる場が少ない
ウ	平岸街道の魅力が不足している	エ	店舗、利便施設が少ない
オ	駐輪場や駐車場が少ない	カ	シンボルとなる施設がない
キ	景観が良くない	ク	みどりが少ない
ケ	コミュニティやにぎわいが不足している	コ	少子高齢化が進んでいる
サ	若者が定着しない	シ	地域に関する情報発信が不足している
ス	歴史的な資産の掘り起こしが不足している		
セ	その他（具体的に：　　　　　　　　）		

※平岸におけるまちづくり上の課題について、思うことがあればご記入ください。

問３　『目標』と『方針』について

以下に示す『目指す平岸の姿』と『方針』は、地下鉄駅に近い利便性や、商店街や平岸天神など地域を特徴づける地域資源、平岸街道や白石・中の島通のような飲食店で賑わう魅力ある沿道景観など、ワークショップで地域の魅力や特徴とされた意見を踏まえて考えた案です。

【目指す平岸の姿】

平岸の魅力とにぎわいがあふれ、新たな交流が生まれるまちづくり
～ 誰もが誇りに思い、幸せが行き交うまちを目指して ～

【方針】

商店街の活力や平岸天神のにぎわいがあふれ、
楽しく散策できるまちづくり

地下鉄平岸駅を中心とした
魅力ある沿道景観を創出するまちづくり

地域交流拠点のにぎわいを活かす魅力あるオープンスペースで、
たくさんの交流が生まれるまちづくり

若い世代をはじめとし、多世代･多様な人が
行きたくなる、住みたくなるまちづくり

（１）この案は、“地域の特徴”や“地域で大事にしていきたいこと”が示されていると感じますか。（あてはまるもの**1つに〇**を付けてください）

ア　示されている
イ　ある程度示されている
ウ　どちらともいえない
エ　あまり示されていない
オ　示されていない

※目標や方針として大事だと思うことがあればご記入ください。

問４ 『地域の魅力を維持向上させるためのルール』について

ワークショップでは、地域の課題を解決し、魅力を向上するまちづくりのルールや、まちづくり活動をまちづくり指針に盛り込むことを検討しています。

（１）問３のような方針を実現するため、以下の①～⑨の建物の建て方などに関するルールについて、必要だと思いますか。（それぞれあてはまるもの**1つに○**を付けてください）

方針	ルールの例	必要	あっても良い	不要
記入例	●●は、●●に努めましょう。	○		
商店街の活力や平岸天神のにぎわいがあふれ、楽しく散策できるまちづくり	①交流の場や休憩スペース、歩行空間のゆとりなどを創出するため、沿道の建物は道路境界からの壁面後退に努めましょう。			
	②沿道の建物は、1階部分に店舗などのまちのにぎわいを創出する用途を配置することに努めましょう。			
	③建物の1階部分を店舗にする場合は、開放性や魅力あるデザイン、ユニバーサルデザインなどに配慮し、人を引き込み、安全に移動できる工夫に努めましょう。			
	④歩行者の安全性の確保や、夜間のにぎわい創出のため、適宜、屋外照明を設け、点灯することに努めましょう。			

※その他に必要と考えるルールがあればご記入ください。

建物の建て方などに関するルールの例

歩行空間のゆとりなどを創出（横浜市）

魅力ある沿道の店舗づくり（札幌市平岸）

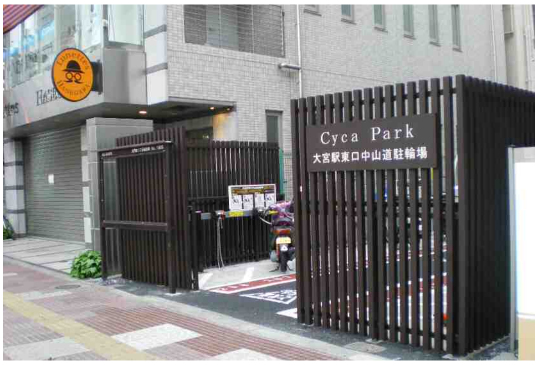
方針	ルールの例	必要	あっても良い	不要
記入例	●●は、●●に努めましょう。	○		
地下鉄平岸駅を中心とした魅力ある沿道景観を創出するまちづくり	⑤周囲の建築物や街並みなどに配慮した建物の形態やデザインとなるように努めましょう。			
	⑥みどり豊かな景観を創出するため、街路樹などとの連続性を意識し、効果的な植栽を行うなど、良好な景観形成に努めましょう。			
	⑦沿道に設置する駐車場や駐輪場は、歩行者の安全に配慮し、景観に配慮した形態やデザイン、緑化などに努めましょう。			
	⑧立看板やのぼり旗等の簡易な広告物を設置する場合は、歩行空間の安全性に配慮した位置に設置しましょう。			
	⑨建物の付帯設備は、道路からみえにくい場所に設置するか、植栽などで目隠しするなど、目立たないよう工夫しましょう。			

※その他に必要と考えるルールがあればご記入ください。

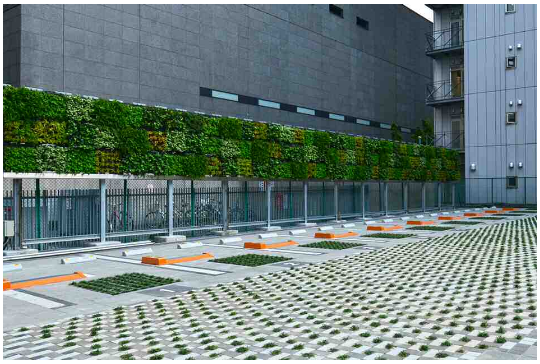
建物の建て方などに関するルールの例

街並みに配慮した建物デザイン（横浜市）

みどり豊かな景観の創出（札幌市都心部）



景観に配慮した駐輪場（さいたま市）



駐車場の緑化（東京都千代田区）

問５　地域の魅力を高めるための地域活動について

　これまでのワークショップでは、地域の魅力を高めるために今後、地域の皆様で取り組むべき活動として以下のようなものが挙げられていますが、どのような活動が必要だと思いますか。
（それぞれあてはまるもの**1つに○**を付けてください）

方針	活動	必要	あっても良い	不要
記入例	●●などの活動	○		
地域交流拠点のにぎわいを活かす魅力あるオープンスペースで、たくさんの交流が生まれるまちづくり	①まちづくりのルールに基づき創出されたオープンスペースを、交流の場やイベントの場として SNS などを通じて積極的に情報発信するとともに、活用する。			
	②平岸天神(YOSAKOI)がより一層活躍できる場や機会を創出する。			
	③精進川など、地域資源を活用した多世代交流を促進する。			
	④地域内の空き地など、人々が集う場を創出し、活用する。			
	⑤地域を盛り上げる新たな名物を創出し、活用する。			
若い世代をはじめとし、多世代の人が行きたくなる、住みたくなるまちづくり	⑥平岸街道沿道を中心として、多世代が参加し、にぎわいを創出する活動を促進する。			
	⑦ビルの空きスペースのリノベーションにより、若い世代が利用できる空間を創出する。			
	⑧若者を中心とした沿道の美化活動を推進する。			
	⑨SNS を活用した情報発信を行う。			

※上記以外で、他にどのような活動があればいいかなどのご意見があれば、ご記入ください。

地域活動の事例

平岸天神が一層活躍できる場や機会の創出

地域資源を活用した多世代交流の促進

問６　地域の情報を得るために活用するツールについて

札幌市ではまちづくり指針や平岸の魅力をより多くの地域の方に知っていただくため、効果的な情報発信の方法を検討しています。

あなたが普段、地域の情報を得るために使うツールについて、頻度の多いものから３つまでを選んで、以下の回答欄に記入してください。

【回答欄】

１番目	２番目	３番目

【記入例】イを１番目、ケを２番目に多く使う場合

１番目	２番目	３番目
イ	ケ	なし

ア　テレビ（ニュースなど）　　イ　ラジオ　　ウ　道新りんご新聞

エ　その他の新聞　　オ　町内会の回覧　　カ　広報さっぽろ

キ　「平岸新聞ふりっぱー」などのフリーペーパー

ク　インターネット（ホームページ、ＳＮＳなど）

ケ　その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　）

問７　あなたご自身についてお聞きします（あてはまるものに○）

（１）性別について教えてください

ア　男性　　イ　女性

（２）年齢について教えてください

ア　10～20 歳代　　イ　30 歳代　　ウ　40 歳代

エ　50 歳代　　オ　60 歳代　　カ　70 歳代以上

（３）下記について、あてはまるもの全てに〇をつけてください。

ア　平岸で事業を営んでいる　　イ　平岸に土地・建物を所有している　　ウ　学生である

エ　上記にあてはまらない

（４）平岸の居住年数等について教えてください

ア　1 年未満　　イ　1 年以上～5 年未満　　ウ　5 年以上～10 年未満

エ　10 年以上～20 年未満　　オ　20 年以上～30 年未満　　カ　30 年以上

キ　平岸に働きに来ている（平岸には住んでいない）

問８　平岸のまちづくりやまちづくり指針に対して、お考えがありましたら自由にご記入ください。

※自由記入

ご協力ありがとうございました。

本アンケートは、同封の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください。

締切：平成 30 年 10 月 29 日（月）当日消印有効・切手不要

ご提出いただいたアンケートは、個人情報を含め、責任を持って取扱をいたします。